



みんなのウェルビーイング

『わんぱくチャレンジスクール』大成功！

10のワークショップで気づく、地域大好き！友達大好き！

コミュニティ・スクール活動として、昨年度から実施している「わんぱくチャレンジスクール」。本年度は11月29日（水）に実施しました。町内の小学生が、各活動場所に集まり、地域のスペシャリストのプログラムを体験し、子どもたちの笑顔の花がいっぱい咲いた半日となりました。

わんぱくチャレンジスクールには2つのねらいがあります。①「地域の皆さんとふれあう活動をとおして、温かな人間関係に支えられていることを実感し、地域への愛着を深める」②「三ツ星小と本川根小の学校・学年を越えたふれあいをとおして、コミュニティ・スクールが作り出す活動の良さを実感する」です。以下、子どもたち、先生方のアンケートの一部を紹介します。



栗原さんと会うのは2回目でした。私のことを覚えていてくださって、とても嬉しかったです。今回もたくさんアドバイスをしてくださり、すてきな作品が出来ました。前より上手にできてうれしかったです。祖母に見せると『すてき』と言ってくれました。栗原さんのおかげです。「もっと遊び心があってもいいんじゃない。」など、いろいろなことも教えてくださいました。花の名前もたくさん知ることができました。今回、とてもすてきな作品を作らせていただきありがとうございました。（「ドライフラワーを使って、素敵な花の世界を作ろう！」に参加した6年生）



本川根小の人となかよくなれました。さいしょは（なかよくなれそうにないな）と思いましたが、昆虫がそれを助けてくれました。なぜかという、わたしがメダカとりたいたいと思っていたら急にゆりちゃんが『わたしがそこを守るから、ここちゃん、あみでとってね。』といってくれました。わたしはこれで、昆虫となかよしをやってよかったとおもいました。（「昆虫となかよし！」に参加した3年生）



活動をとおして地域の方との絆を深めたり、一歩踏み出して友だち関係をつくることができた子どもたちの喜びがあふれています。そうした子どもたちの姿を間近にして、こんな感想を寄せてくださった先生がいらっしゃいました。

子どもたちの創造性が発揮できる企画を提供していただきました。こうした自由な発想の活動が、学校の中で行われることは少なく、異なる立場や価値観の大人が子どもと出会う意味の大きさを感じました。令和の日本（川根本町）型の教育は、こうした柔軟な地域の大人たちと一緒に作るスクールコミュニティに違いありません。コミュニティ・スクールの取り組みのさらなる発展を願っています。



今年度のわんぱくチャレンジスクールも大成功でした！

講師やボランティアで関わってくださった地域の皆さん、本当にありがとうございました。

わんぱくチャレンジスクール

10の活動一覧 ※()内は、活動を支えてくださった、講師の皆さん

①植物を使って作ろう！（鈴木正文さん）②昆虫と仲良し！（山下健さん）③赤石太鼓を体験しよう！（赤石太鼓保存会）④ドライフラワーを使って、素敵なお花の世界を作ろう！（栗原春子さん）⑤木で「マイおはし」を作ろう！（棚森貢さん）⑥いらなくなった木をつかって何ができるかな？（鈴木健二さん）⑦グランドゴルフ大会をやろう！（徳山区グランドゴルフ愛好会）⑧クッキングにチャレンジ！（坂口直美さん）⑨自然と遊ぼう！ネイチャーゲーム（川根本町地域おこし協力隊）⑩鹿ん舞を体験しよう！（徳山古典芸能保存会）

中川根中学校



柚子を使った料理を考案し、三ツ星村のスタッフの方に試食してもらった様子

12月12日（火）に探求学習の発表会が行われました。今年の探求学習は、町を活性化するためのプロジェクト作りをテーマに縦割りグループで取り組みました。少子高齢化や飲食店の減少などの課題を解決する方法を考えたり、町の特産物や山菜、ジビエなどに着目したレシピを考えたり、防災をテーマにしたカードゲームを作ったり、伝統芸能を町外の人たちにPRするためのスタンプラリーを考えたりなど、どのグループも積極的に取り組みました。

また、探求学習を進めていく上で、役場や商工会、観光協会、飲食店、事業所、ボランティア団体など、町内の様々な人たちと関わることにより、学習の質がさらに高まったことが発表の内容からも感じられました。

本川根中学校

12月9日（土）に学習発表会が行われ、本川根小学校の子どもたちや地域の人たち、旧職員の方々など多くの人が参観しました。探求学習の発表や英語スピーチなどに加え、各学年で考えた劇やダンスの発表があり、日頃の学習の成果が発揮されました。本川根中の探求学習でも田代神楽保存会、エナジーファームをはじめ、多くの地域の人たちに関わっていただきました。

また、閉校行事の中では、本川根中の歴史を振り返る発表が行われ、参加者全員で校歌の斉唱も行われました。昼食休憩時に合わせてマルシェも開かれ、町内の10店舗以上が出店して、生徒や保護者、地域の方、発表会の参加者などで賑わいました。



学習発表会後の「本中マルシェ」の様子
大勢の方でにぎわいました

その他にも、たくさんの素敵なCS活動が実施されました。一部を紹介します！

- ・ミシンの学習を更生保護女性会の皆さんがサポート（三ツ星小5・6年生、家庭科）
- ・地元の食材を使ったイタリア料理作りを、ヴィオランテ・ステファニア西村さんがお手伝い！（本川根小3年生、総合的な学習）
- ・ゲストティーチャーとしてヴィオランテ・ステファニア西村さん、中村緒奈さん、ZOHUの社員の皆さんが参加（本川根中1年生、英語科）
- ・和装と洋装の違いの学習で、着付け教室の先生による指導（中川根中・本川根中2年生、家庭科）

*コミュニティ・スクール活動では、地域と学校がつながって、子どもたちも先生も、地域の方も、誰もがみんなワクワクするような協働活動を共に作っていきます。地域も学校も誰もが「ここにいていいんだ」と思える持続的な幸せ（ウェルビーイング）を目指しています。

*子どもたちの学習活動をサポートして下さる地域の皆さんを引き続き募集しています。希望される方は、学校応援団として登録させていただき、サポートが必要な時にご連絡させていただきます。

（問い合わせ：川根本町教育委員会 TEL：0547-58-2555）

みんなのウェルビーイング

CSだより 2023年度2号

発行日：2024年2月8日

企画・製作：コミュニティ・スクール
ディレクター、推進員一同

ご意見・ご感想：川根本町教育委員会（TEL:0547-58-2555）発行：川根本町教育委員会